

第 32 回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告

日時：平成 28 年 10 月 14 日（金）16 時 00 分から

場所：京都府立大学 図書館視聴覚室

講師：油谷克英 先生（理化学研究所放射光科学総合研究センター）

「蛋白質のかたち、立体構造は何度まで熱安定か ---高温での安定化メカニズム」

参加者：学部学生、大学院学生、教員

参加者総数：約 25 名

油谷先生らが最近発見した史上最高の熱安定性（変性温度、 T_d は約 150°C ）を持つ超好熱菌（*Pyrococcus horikoshii*）由来の CutA1 蛋白質（PhCutA1）の熱安定化機構に関する研究から、 100°C 以上の高温での蛋白質安定化の熱力学的メカニズムについて解説いただいた。さらに、これらの知見を活かして、大腸菌由来の CutA1（EcCutA1）に変異を導入し、 T_d が 143°C という変異体の作製の成功に至る内容も説明いただきました。講演終了後、院生や教員から質問があり、油谷先生からさらに詳しく解説してもらいました。

（高野和文）

